

ひいらぎ

9 月 号

発行：平成26年9月8日（月）

文責：諏佐 一夫

駅伝で男女とも県大会進出



9月4日（木）全会津中学校体育大会駅伝競走大会があいづ総合運動公園で開催され、女子が5位、男子が6位で、そろって県大会の出場権を獲得しました。女子は13位でのスタートとなりましたが、2区で9位、3区で5位と徐々に順位を上げていったの入賞でした。男子は第1走者の吉田勇大くんがぶっちぎりのトップで帰ってきたのを、みんなで生かしての入賞でした。県大会は10月1日（木）、2日（金）に南相馬市で開催されます。

英語弁論大会で県大会進出



8月29日（金）北会津地区中学校英語弁論大会が会津若松市文化センターで開催され、柴田菜摘さんが創作の部で準優勝、県大会の出場権を獲得しました。

柴田さんは「I am not Malala yet」という題の作品で、国連での演説で有名なマララさんと修学旅行で訪れた沖縄の例を挙げて、教育の重要性を訴えました。私は原稿を読んで優勝間違いなしと思ったのですが、レベルの高い戦いだったようです。

暗唱の部には福地智也くんが出場し、「Can anyone hear me?」という題のショートショートを表現力豊かに朗読しました。惜しくも県大会出場はなりませんでした。これから9月12日の県大会に向けて、柴田さんの表現力向上のコーチを引き受けてくれるそうです。県大会での逆転が今から楽しみです。

青少年の主張で最優秀賞

7月19日（土）第27回青少年の主張猪苗代町大会が「学びいな」ホールで行われ、本校からは3年生の佐藤美紗さんが代表として参加しました。「『生きること』と向き合う」というタイトルでした。難しいテーマでしたが、美紗さんが「なぜ生きなければならないのか」と悩み、「勉強も部活動も何もかもやりたくない」という時期を乗り越えた体験をもとにした発表でした。表現力豊かな発表は審査員の心をとりえて、中学校の部の最優秀賞を受賞しました。発表にあった「まず自分の心に素直になることから始めていきたい」という決意を大切にしてほしいと思います。



北会津小中学校音楽祭で優良賞



8月22日（金）北会津地区小中学校音楽祭（第1部合唱）が会津風雅堂で行われ、特設合唱部が優良賞を受賞しました。残念ながら県大会出場はなりませんでした。課題曲の「桜の季節」（作詞作曲はEXILEのATSUSHI）も、自由曲の「ヒスイ」も、本番では練習の時以上のいい演奏ができた、生徒はすがすがしい表情でした。